

5月1日に第1回安平町臨時議会が開かれました。

瀧孝町長が、新体制を支える助役と教育委員の人事案件を提案し、審議の結果、幅田和夫氏(旧早来町助役)と田上晴正氏(旧追分町助役)が議会の同意を得て助役に決まりました。

また、教育長については、豊島滋氏(旧追分町教育委員会教育長、安平町暫定教育委員)が教育委員会委員として議会が任命に同意。5月2日の教育委員会の中で、同氏が教育長に決定されました。

新しく就任された、幅田和夫助役(早来庁舎勤務)、田上晴正助役(追分庁舎勤務)そして豊島滋教育長のあいさつと経歴を紹介します。



幅田和夫 助役

### 職員と共に町政の推進に 最善の努力を尽くす

この度、5月1日付をもちまして瀧町長の下で安平町の助役(早来庁舎)の任を拝命いたしました。

今、その責務の重大さをあらためて痛感している次第であります。

顧みますと、昭和39年に早来町役場に奉職させていただきまして以来、行政運営の難しさや厳しさを痛感してまいりましたが、町助役という重責を担うに当たり、42年間の行政マンとしての経験をフルに生かし、誠実かつ公正に取り組んでまいりたいと考えています。

今後は、今まで先人の皆様

方が築かれた歴史と伝統を大切にしながら、瀧町長の基本的な考え方であります『暮らしの笑顔が広がるぬくもりと活力と躍動のまちづくり』を基調として、役場職員と共に町政の推進に最善の努力をします。

これからも、町民の皆様方の格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



田上晴正 助役

### 住民から期待される 役場づくりに向けて

3月27日に安平町が誕生し、新しい町として出発する重要なときに、町議会の同意をいただき、助役という重責を担わせていただくことになり、

気持ちを新たに、その責務に全力を尽くす決意でございます。

今後は、一日も早く行政と町民が共に一体感が持てるように、また公平で公正な町政の運営に全力を傾けてまいります。

地方分権一括法の制定や地方交付税改革、さらに国から地方への税源移譲など各地方自治体の財政に不安感を募らせています。

こうした中、計画的な行政運営により、町財政の健全化

に努めてまいりたいと考えています。

そして、できるだけ行政サービスの低下を招くことがないように十分に配慮しつつ、住民の皆様から期待される役場づくりに向けて、瀧町長の補佐役として微力ではありますが、一生懸命まい進してまいります。

皆様には、今後とも何とぞご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### 略 歴

生年月日 昭和21年1月30日生 60歳  
現住所 安平町追分若草3丁目160番地  
学歴 昭和39年 北海道追分高等学校卒業、  
同42年 北海道立自治講習所卒業  
職歴 昭和43年 追分町役場勤務、平成4年 まちづくり推進課長(旧追分町)、同8年 総務課長(同)、同12年収入役(同)、同16年 助役(同)

#### 略 歴

生年月日 昭和20年5月15日生 61歳  
現住所 安平町早来北進71番地7  
学歴 昭和39年 北海道苫小牧工業高等学校卒業  
職歴 昭和39年 早来町役場勤務、平成7年 企画課長(旧早来町)、同11年 企画商工課長(同)、同12年 税務課長(同)、同15年 総務課長(同)、同17年 助役(同)